

病児保育の充実で仕事と子育てが両立できる社会を——フローレンス

子どもの発熱や軽い病気の時、安心して預けられる場所が圧倒的に少ない「病児保育問題」。この問題に対して、「病児保育」という看護と保育の融合した領域で、住みよい地域社会をつくっていくために活動しているフローレンスは、「非施設型の病児保育」の草分け的存在。仕事と子育ての両立が当たり前前の社会を目指して、より根本的な社会的課題の解決のために力を尽くし続けています。

病児保育問題の根底にあるのは働く人々のワークライフ・バランスの問題。子育てと仕事、そして自己実現の全てに誰もが挑戦できる、しなやかで躍動的な社会を実現するのは「気づいた人間」一人ひとりです。

今、フローレンスが力を入れているのは「ひ

とり親支援」です。ひとり親家庭の世帯収入は一般家庭の約三分の一、その子どもは十分な教育機会を与えられない可能性があり、ひとり親の失業リスクは高くなりがちです。にもかかわらず「費用の問題で病児保育の利用が難しい」という声を受け止め、どうやったら支援できるのかを考えました。

もし、一二、〇〇〇円あれば、一か月間、一・五世帯のひとり親家庭の子育てと仕事の両立を支えられます。超低価格で病児保育をサポートする「ひとり親パック」とそれを支える「サポート隊員制度」を、より多くのひとり親家庭が利用できることで、働く母親と子どもが、ダブルで笑顔になってほしい！



代表理事
駒崎弘樹さん

特定非営利活動法人フローレンス
団体責任者 駒崎弘樹
東京都新宿区下宮比町3の1 津多屋ビル3F
☎03-3235-6206 <http://www.florence.or.jp>